

最後のブルース・リー／ドラゴンへの道 (1972)

猛龍過江

RETURN OF THE DRAGON [米]

THE WAY OF THE DRAGON

メディア	映画
ジャンル	アクション 格闘技
製作国	香港
色彩	Color
時間	100分
初公開日	1975/01/25
公開情報	東映洋画
映倫	G
リバイバル	1997/10 [レイジング・サンダー]

【キャッチコピー】

世紀の闘神ブルース・リー！ 鮮烈必殺技のすべてを叩き込んで 宿敵ヨーロッパの群雄を打ち砕く
唸り飛ぶ迫真のダブル・ヌンチャク 壮麗ローマ・コロシウム大遺跡の一騎打ち 烈昂の叫びと共に噴
きあげる《クン・フー》クライマックス！

【解説】

「ドラゴン危機一発」「ドラゴン怒りの鉄拳」の後、B・リーが監督などを兼任した作品。日本ではリーの死後、相次いで主演作が公開されたがその中でもっとも後発の物だったため“最後の”なる冠が付いている。

知人がイタリアで経営する中華レストランがギャングの地上げにあって苦しんでいる事を知り、単身ローマに降り立つタン・ロン。彼の存在を快く思っていなかったレストランの従業員たちもチンピラたちを瞬く間に倒したタン・ロンに心酔する。だがギャングの嫌がらせとタン・ロンの防衛戦は次第にエスカレートしていく。やがてギャングのボスはタン・ロン打倒のために凄腕の空手家を呼び寄せるのだった……。

当時は全くの無名だったC・ノリスとローマ・コロシウムで繰り広げるクライマックスの闘いは――それがたとえ稚拙なセット撮影だとしても――シチュエーション、擬斗共に映画史に残る名シーンと断言してもよいだろう。作品のコントロール権を握ったリーのワンマン映画と言って差し支えないのだが、これまでになかった陽気なキャラクターといい自分の見せ方をよく心得ている演出も安心できる。

【クレジット】

監督	ブルース・リー	Bruce Lee	
製作	レイモンド・チョウ	Raymond Chow	
	ブルース・リー	Bruce Lee	
脚本	ブルース・リー	Bruce Lee	
撮影	ホー・ランシャン		
音楽	ジョセフ・クー	Joseph Koo	
	ブルース・リー	Bruce Lee	
出演	ブルース・リー	Bruce Lee	タン・ロン
	ノラ・ミヤオ		チェン
	チャック・ノリス	Chuck Norris	ゴードン
	ロバート・ウォール	Robert Wall	フレッド
	ジョン・T・ベン		

